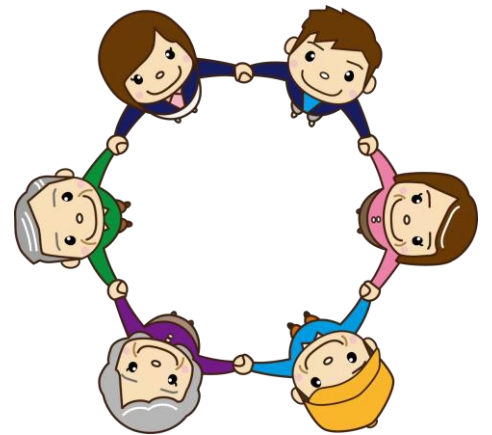


ひきこもり講演会を開催しました

神奈川県立青少年センターとの共催で特定非営利活動法人子どもと生活文化協会副理事長の和田正宏氏、かながわ be フレンド（※1）のお二人に登壇いただき、講演会を開催しました。

講演会では、ひきこもり支援の現状と厚生労働省が公表した支援ハンドブックについて聞き、事前および当日寄せられた質問を対談形式で答えていただきました。参加者の方からの質問がとても多く、すべてにお答えいただけませんでした。一例ですが、当時の自分に声をかけるなら、なんと声をかけますか？という質問にお二人はそれぞれ、「生きているだけで十分なので、えらいね、よくがんばっているね。」、「何とかなるよ。悩んだ末に、大丈夫でした。」と答えられました。お二人は、いずれの質問に対してもご自身の答えを丁寧にお話しくださいました。参加された方からは「当事者の声が聞けていい機会だった」、「背中を押そうと思ったことが圧力として受け取られる場合があることがわかった」、などといった感想が寄せられました。



- 1 日 時 令和7年7月30日（水）
午後1時30～午後3時30分
- 2 場 所 保健福祉センター 多目的ホール
- 3 テーマ あのとき辛かったこと、嬉しかったこと
～ぼくの場合、わたしの場合～
- 4 対 象 ひきこもり状態にある方やご家族、関心のある方
相談機関や民生委員など相談支援に携わる皆様など
- 5 出席者 86人
- 6 動画配信 この講演会の配信はありません。

※1 かながわ be フレンドとは、不登校・ひきこもりの体験者等で、かながわ子ども・若者総合相談センター、神奈川県ひきこもり地域支援センターで、相談業務や啓発事業に協力していただいている方たちです。